

会報

# やまばと

(第80号)



発行

社会福祉法人 浄泉会  
秦野市渋沢2620-2  
TEL 0463 (87) 1188  
発行人 西田精吾

E-MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

URL

http://yamabato.org/

## 副施設長就任挨拶

浄泉会 やまばと学園 副施設長 工藤 淳

令和四年四月に副施設長に就任いたしました工藤淳と申します。

平成十年に、やまばと学園に入職し入所から通所センター、グループホームと様々な事業所で経験を活かし学ばせていただきました。ここまで私を成長させてくださった利用者の皆様やご家族・職員の皆様には大変感謝しております。

私が福祉に興味を持ったのは小学生の頃に活動していたボーイスカウトの活動で障害児の子供たちと芋ほりをした事がきっかけでした。とても楽しかったことを今でも覚えていきます。



また、ボーイスカウトの先輩に身体の障害をもった方がいましたが自身に障害がある事

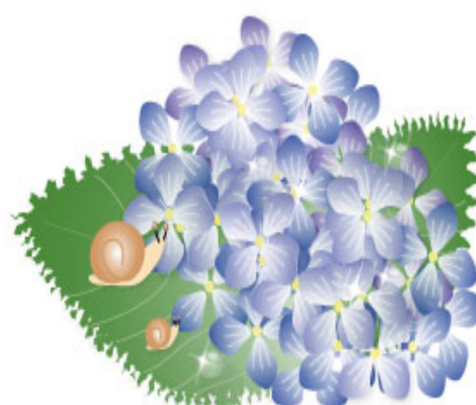
に対して気にされることはなく、私も自然と気にすることなく過ごしていたことを覚えていきます。福祉の専門学校に通っていたある時、その先輩に楽しいキャンプがあるけど参加してみないかというお話

があり参加しました。そのキャンプは自閉症の子供が親と離れてボランティアと一緒にキャンプをするというもので、当初ボランティアの方は皆、専門的な知識を持つた方なんだろうと思っていました

が、実際はもちろん専門的な方もいましたが、私のような学生や福祉とはまったくの異業種の方など様々でした。そのような中でキャンプはというと、とても楽しく、何ら普通のキャンプと変わららず子供達も参加したボランティアの方達も満面の笑みだったことが、大変印象的でした。もちろんより良い接し方や関わり方があるのかもしれないませんが何よりも信頼関係を築くことの大切さを知りました。

このような経験をした後にやまばと学園へ入職しました。入職した平成十年から現在までで福祉を取り巻く法律や制度など色々と変わってくる中で、平成二十七年には北欧のスウェーデン・デンマーク・フィンランドに海外研修へ参加させていただきました。障害者

が特別な存在でなく地域で生活していた現状にはとても驚き、日本のギャップも感じました。入職以来、私は学生の頃にキャンプで感じた『自然な雰囲気での笑顔』を大切にしてきました。今年度から副施設長となり、気持ち引き締まる思いと不安もありますが、より良い施設運営や支援の為に、今後も初心を忘れずに職員と協力し合い、努力を重ねてまいります。これからはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



異動挨拶

生活支援課 小林 孝治

今年度より、入所二階あおば担当から入所三階わかば担当に異動になりました小林孝治です。

三年前まで、入所三階の支援をさせていただいたので、古巣に戻ってきた気持ちになりました。

三階の利用者様に異動の挨拶をした際にも、「久しぶり」「またよろしくね」などの温かいお言葉を頂きました。



入所棟の男性フロア全てを経験させてもらったことを強みとして、利用者様の気持ちを取り、ニーズの提供ができるように努めてまいります。

現在、コロナ禍ということもあり、感染症対策によるイベント行事の縮小がなされています。その中で、職員ができる限り利用者様が楽しめるイベント行事を提供できるように努めてまいりますので宜しくお願いします。

異動挨拶

生活支援課 内田 光

この度、人事異動により令和四年四月一日付で三階わかば担当から二階あおば担当に異動しました内田光と申します。

入職してから三年間の三階わかばで学んだ事を活かして、利用者様の日々の支援に活かせるよう努力する所存でございます。

二階利用者の皆様とは二階勤務や行事、入浴支援の時に関わりを持たせて頂いていましたが、まだまだ特性の理解や関係性の構築には至っておりません。

初心に戻り、利用者様ひとりひとりに寄り添いながら、丁寧な支援を心掛けていくと共に、コロナ禍で行事が縮小している中、利用者様へ楽しみを出来る限り提供し、日々の生活がより充実したものであるよう努力いたします。

至らぬ点も沢山あるかと思いますが、皆様のお力になれるよう日々精進して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



新人挨拶

生活支援課 山本 追風

この度、令和四年度四月一日より三階わかば支援課に入職致しました、山本追風（やまもと はやて）と申します。宜しくお願い致します。

私は元々保育士になりたいと思いい保育の専門学校に入学いたしましたが、やまばと学園での実習を機に利用者様とより関わってみたいと思うと同時に利用者様が、居心地の良い環境への配慮ができた支援をして行きたいと思いい入職致しました。

福祉への知識が豊富ではない為地道に学びながら努力していきたいと思ひます。まだまだ至らぬ点がありますが、ご迷惑をお掛けしてしまひますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



皆さん、よろしくお願ひします。

新人挨拶

生活支援課 星野 未紗

この度、令和四年四月一日から入職し、一階もみじ支援課に配属されました星野未紗（ほしの みさ）と申します。宜しくお願い致します。

私は横浜こども専門学校を卒業したら子供と関わる仕事に就くつもりでいました。ですが就職活動が始まった時、自分のやりたい事や、なりたいたいものが分からなくなりました。悩んでいた時期にやまばと学園での実習が決まりました。通所での実習では利用者様と関わる事の楽しさや難しさ、いかに気持ちを汲み取れるか等、様々な事を教えて頂きました。この時の実習がきっかけとなり、やまばと学園で働きたいと強く思いました。

入職した今の私の目標は利用者様に毎日を楽しく健康に過ごしていただく事です。今はまだ至らぬ点もあり、ご迷惑をおかけしてしまひますが何卒ご指導の程宜しくお願い致します。

よろしくお願ひします。



程宜しくお願ひ致します。

新人挨拶

生活支援課 富山 優花

今年度二月よりやまばと学園一階もみじ担当の支援員として入職いたしました。富山優花（とみやまゆうか）と申します。



私は保育士になる為の学校出身なのですが、実習で施設を経験し施設の仕事に興味を持ち、見学などをさせて頂きこのやまばと学園での就職を決めました。覚える事もたくさんあり、苦戦している毎日ですが、顔と名前も覚えて、毎日利用者の方と楽しく関わっていています。初めての経験で、不慣れで至らぬ点も多くあり、ご迷惑をおかけしてしまう事があると思いますが、少しずつ仕事に慣れていき、早く覚えられるように、そして、元気に楽しく仕事をしていけたらと思っています。これからよろしくお願い致します



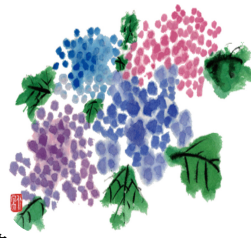
今後共、よろしく  
お願いします。

新人挨拶

栄養士 仲野 由紀子

この度、令和三年十二月十六日より栄養士として入職致しました。仲野由紀子と申します。

栄養士として、委託会社、老人施設、障害者施設と勉強させて頂きました。今までの経験と知識をやまばと学園で、活用できる様努力していきますので、宜しくお願い致します。



栄養士歴は長いですが、やまばと学園では初めての事も多く戸惑っています。学園での食事、健康を支えていく為に、利用者様に寄り添い、食形態の安全、食材選別や調理方法を工夫して、日々の栄養管理に努めていきたいと思っています。又、利用者様にとっては、学園が生活の場です。季節ごとの食事、イベント食を通して少しでも心豊かで、楽しい生活が送れる様、調理員と共に取り組んでいきたいと思っています。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

新しい仲間をお迎えしました

生活支援課 係長 佐藤 恵

ご報告致します。三月十七日より1階もみじに「榎田江李花様」が入所されました。



自作のオリジナルキャラクター

年齢は二十二歳、手先がとても器用で、粘土でオリジナルキャラクターのキャラクターを作り、塗り成し、塗り絵では色使いが多彩で、芸術的センスがあり、笑顔がとてもチャーミングな女性です。

たまに、元気すぎてしまう一面もありますが、職員とコミュニケーションを取りながら新しい環境に慣れようと日々、頑張っています。どうぞよろしくお願い致します。



よろしくお願いします。

移乗介助講演会

生活支援課 飯田 美香

この度、研修委員会の内部研修として、『移乗介助・ボディメカニクス講座』を令和四年三月二十三日にやまばと学園内にて開催致しました。講師は、湘南ケアカレッジから小野寺講師をお迎えしました。参加者三十六名が二人一組となり、実際に体を動かし、移乗介助の正しい知識や、体の使い方、体の負担が軽減出来ることを実際に体験してもらおう事で、介助される側の思いや気持ちを少しでも実感が持てたと思います。最初は参加者皆、緊張した面持ちで講習を受けていましたが、内容が進むにつれ、リラックスした雰囲気の中で行えたと思います。短い時間でしたが、講習も無事に終わり、参加者から「とても楽しかった」「参加出来て良かった」と声を聞く事が出来ました



グループホーム近況報告  
地域支援課 大澤 定雄

平成二十七年四月二十日に「グループホームやまばとハウス」が開設しました。本年令和四年四月で七年が過ぎました。

私は開設時から勤務しており、振り返ってみると様々なことが思い返されます。利用者はどのような方なのか、どのような業務をしていくのかなど不安な面が多かったことを覚えています。それからもう七年が過ぎ一番古参の職員となりました。

私は特別養護老人ホームからやまばと学園に入職しました。介護から支援に変わったわけですが、今も利用者との接し方や関わり方で悩むところがあります。おそらくこれからも悩み続けるとは思いますが、学園信条に明記されている通り、利用者の要求を汲みとり対応できる支援員になれるよう日々努力して参ります。また私自身もそうですが利用者も年齢を重ねています。対応が変わってきており、それぞれ利用者に合った支援や介護が出来るように努めて参ります。

「寄附をいただいた方々のご紹介」

- 令和四年一月～五月
  - やまばと学園保護者会
  - 西湘地域労働者福祉協議会
  - 日産自動車株式会社
  - パークッショングループ
  - フオーライフ 代表 相原 啓子様
  - 高橋登美雄様 ○戸川 峯雄様
  - 藤澤 実 様 ○三島 卓穂様
  - 和田 義昭様 (順不同)
- たくさんの方々から貴重な浄財をご寄附をいただきました。有難うございました。



やまばと学園保護者会より  
コロナ対応用パーテーションを  
2枚ご寄附いただきました。  
有難うございました。

人事昇格・異動

◎令和四年四月一日付昇格者

やまばと学園

副施設長 工藤 淳

◎入職者

- 生活支援課 富山 優花
- (令和四年二月十六日付)
- 地域支援課 山本やへ子
- (令和四年二月十七日付)
- 生活支援課 星野 未紗
- 生活支援課 山本 追風
- (令和四年四月一日付)
- 通所支援課 清水 果歩
- (令和四年四月四日付)

◎退職者

- 地域支援課 中川 良平
- (令和四年一月二十五日付)
- 生活支援課 渡辺 大志
- (令和四年一月三十一日付)



浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」の会員・賛助会員を募集しています

社会福祉法人浄泉会

やまばと学園利用者支援「はとの会」

- 法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。
- 障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

法人会員	年額1口	20,000円
個人会員	年額1口	10,000円
賛助会員	年額1口	3,000円

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)どこの郵便局でも00220-5-14491です。  
口座名は 浄泉会やまばと学園利用者支援「はとの会」  
新しく会員になられる方はご住所を電話等でお知らせ頂くようお願い致します。

やまばと学園内 はとの会係担当  
〒259-1322 神奈川県秦野市渡沢 2620-2  
Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

やまばと学園  
リニューアルしました!  
ホームページ  
<http://yamabato.org/>  
メールアドレス  
yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

今年度の広報担当は「石田、山口、飯田」の三名が担当となりました。  
皆様にに楽しみにしていただけるような記事を目標に力を入れていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。  
(山口)

編集後記